

令和3年度 決算に関する説明資料

- 1 各種会計歳入歳出決算総括表 (P1)
- 2 各種会計歳入決算前年度比較表 (P2)
- 3 各種会計歳出決算前年度比較表 (P3)
- 4 一般会計歳入決算前年度比較表 (P4)
- 5 一般会計歳出決算前年度比較表 (P5)
- 6 一般会計性質別歳出決算前年度比較表 (P6)
- 7 市税決算前年度比較表 (P7)
- 8 都市計画税充当説明資料 (P8)
- 9 地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる
社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 (P9)
- 10 地方交付税の概要 (P10)
- 11 各種基金の状況 (P11)
- 12 各種会計地方債の状況 (P12)
- 13 健全化判断比率及び資金不足比率 (P13)
- 14 健全化判断比率及び資金不足比率に関する会計区分等 (P17)
- 15 普通会計決算状況分析主要指標 (P18)
- (参考) 普通会計決算状況分析主要指標の見方 (P19)

令和3年度各種会計歳入歳出決算総括表

(単位:円)

会計区分	予算現額 (A)	決算額			備考	予算現額と決算額との比較		
		歳入(B)	歳出(C)	差引残額(B-C)		歳入(B-A)	歳出(A-C)	
一般会計	20,033,643,000	19,099,769,965	18,370,845,533	728,924,432	繰越明許費繰越財源 173,928,600 事故繰越し繰越財源 26,220,312 翌年度繰越額 260,000,000 財政調整基金繰入額 268,775,520	▲933,873,035	1,662,797,467	
特別会計	国民健康保険事業	3,579,805,000	3,328,259,178	3,316,104,454	12,154,724	翌年度繰越額 6,077,000 国民健康保険事業財政調整基金繰入額 6,077,724	▲251,545,822	263,700,546
	後期高齢者医療	360,581,000	355,032,993	349,720,962	5,312,031	翌年度繰越額 5,312,031	▲5,548,007	10,860,038
	介護保険	3,283,001,000	3,160,460,929	3,078,836,340	81,624,589	翌年度繰越額 26,521,000 介護保険事業財政調整基金繰入額 55,103,589	▲122,540,071	204,164,660
	東根財産区	495,000	253,832	253,832	0		▲241,168	241,168
	計	7,223,882,000	6,844,006,932	6,744,915,588	99,091,344		▲379,875,068	478,966,412
合計	27,257,525,000	25,943,776,897	25,115,761,121	828,015,776		▲1,313,748,103	2,141,763,879	

区分		収入(A)	支出(B)	差引額(A-B)	備考	
企業	水道事業	収益的 予算現額	1,073,499,000	1,025,142,000	48,357,000	収益的収支(税抜き) 総収益 1,063,589,232 円 総費用 904,050,925 円 収入支出差引 159,538,307 円
		決算額	1,144,678,905	964,661,191	180,017,714	
	資本的	予算現額	51,047,000	326,662,000	▲275,615,000	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 267,475,773円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 20,416,707円、減債積立金 63,147,056円及び過年度分損益勘定留保資金 183,912,010円で補填。
		決算額	44,684,900	312,160,673	▲267,475,773	
会計	下水道事業	収益的 予算現額	954,633,000	987,430,000	▲32,797,000	収益的収支(税抜き) 総収益 935,714,411 円 総費用 938,246,629 円 収入支出差引 ▲2,532,218 円
		決算額	962,071,294	974,214,287	▲12,142,993	
	資本的	予算現額	936,380,000	1,103,177,000	▲166,797,000	資本的収入額(前年度支出の財源に充当する令和2年度同意済企業借入額 3,400,000円を除く)が資本的支出額に対し不足する額157,161,881円は、過年度分損益勘定留保資金 25,533,511円及び当年度分損益勘定留保資金 131,628,370円で補填。
		決算額	927,890,900	1,081,652,781	▲153,761,881	

令和3年度 各種会計歳入決算前年度比較表

歳入

(単位:千円、%)

会計区分		令和3年度		令和2年度		比較		摘要	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率		
一般会計		19,099,770	65.8	22,368,351	69.3	▲ 3,268,581	▲ 14.6	【 】内の数字は令和2年度との比較 ○市税 3,344,391 【▲41,208 ▲1.2%】 ○地方消費税交付金 719,144 【+50,277 +7.5%】 ○地方特例交付金 52,341 【+24,364 +87.1%】 ○地方交付税 4,600,963 【+610,428 +15.3%】 ○特別定額給付金給付事業費(事務費)補助金【▲2,879,757 皆減】 ○災害等廃棄物処理事業費補助金【▲643,712 皆減】 ○ふるさと納税寄附金 2,922,368 【+201,137 +7.4%】 ○財政調整基金繰入金【▲120,000 皆減】 ○繰越金 399,827 【▲174,681 ▲30.4%】 ○市債 1,296,393 【▲716,435 ▲35.6%】	
特別会計	国民健康保険事業	3,328,259	11.5	3,334,621	10.3	▲ 6,362	▲ 0.2	○国民健康保険税 506,713 【▲2,282 ▲0.4%】 ○保険給付費等県交付金 2,544,008 【▲48,491 ▲1.9%】 ○一般会計繰入金 224,261 【+11,073 +5.2%】 ○財政調整基金繰入金 26,000 【皆増】 ○繰越金 10,758 【+6,653 +162.1%】	
	後期高齢者医療	355,033	1.2	351,383	1.1	3,650	1.0	○後期高齢者医療保険料 252,193 【+2,658 +1.1%】 ○繰越金 3,800 【+1,339 +54.4%】	
	介護保険	3,160,461	10.9	3,184,312	9.9	▲ 23,851	▲ 0.7	○介護保険料 649,524 【+27,721 +4.5%】 ○介護給付費交付金(支払基金) 765,175 【▲38,628 ▲4.8%】 ○一般会計繰入金 458,236 【▲10,919 ▲2.3%】	
	東根財産区	254	0.0	258	0.0	▲ 4	▲ 1.6	○財産造成基金繰入金 234 【▲3 ▲1.7%】	
	計	6,844,007	23.6	6,870,574	21.3	▲ 26,567	▲ 0.4		
企業会計	水道事業	収益的收入	1,144,679	3.9	1,085,659	3.3	59,020	5.4	○水道料金 892,054 【▲4,167 ▲0.5%】 ○水道高料金対策一般会計補助金 94,902 【+17,287 +22.3%】 ○過年度損益修正益 75,257 【皆増】
		資本的收入	44,685	0.2	33,616	0.1	11,069	32.9	○水道加入金 16,566 【+4,114 +33.0%】 ○工事負担金 6,279 【+5,069 +418.9%】
	下水道事業	収益的收入	962,071	3.3	952,497	3.0	9,574	1.0	○公共下水道使用料 277,989 【▲855 ▲0.3%】 ○長期前受金戻入 459,502 【▲11,223 ▲2.5%】
		資本的收入	927,891	3.2	968,326	3.0	▲ 40,435	▲ 4.2	○企業債 417,000 【▲9,100 ▲2.1%】 ○国庫補助金 71,481 【▲19,168 ▲21.1%】 ○一般会計補助金 435,076 【▲5,685 ▲1.3%】
	計	3,079,326	10.6	3,040,098	9.4	39,228	1.3		
合 計		29,023,103	100.0	32,279,023	100.0	▲ 3,255,920	▲ 10.1		

令和3年度 各種会計歳出決算前年度比較表

歳出

(単位:千円、%)

会計区分		令和3年度		令和2年度		比較		摘要	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率		
一般会計		18,370,846	64.6	21,740,198	68.4	▲ 3,369,352	▲ 15.5	○特別定額給付金事業【▲2,879,757 皆減】 ○災害等廃棄物処理事業 16,540【▲1,284,008 ▲98.7%】 ○災害復旧事業費 670,570【▲1,002,195 ▲59.9%】 ○基金積立金合計 1,891,165【+732,479 +63.2%】	
特別会計	国民健康保険事業	3,316,104	11.7	3,313,104	10.4	3,000	0.1	○保険給付費 2,472,936【▲4,911 ▲0.2%】 ○保健事業費 37,431【+7,864 +26.6%】	
	後期高齢者医療	349,721	1.2	347,583	1.1	2,138	0.6	○後期高齢者医療広域連合納付金 333,050【+2,541 +0.8%】 ○賦課徴収費 4,152【▲826 ▲16.6%】	
	介護保険	3,078,836	10.8	3,114,084	9.8	▲ 35,248	▲ 1.1	○保険給付費 2,847,514【▲46,842 ▲1.6%】 ○地域支援事業費 151,419【+9,177 +6.5%】	
	東根財産区	254	0.0	258	0.0	▲ 4	▲ 1.6	○総務費 2【▲4 ▲66.7%】	
	計	6,744,915	23.7	6,775,029	21.3	▲ 30,114	▲ 0.4		
企業会計	水道事業	収益的支出	964,661	3.4	956,233	3.0	8,428	0.9	○施設維持管理費等 920,349【+24,837 +2.8%】 ○消費税及び地方消費税納付金 6,315【▲9,604 ▲60.3%】
		資本的支出	312,161	1.1	244,967	0.8	67,194	27.4	○建設改良費 249,014【+63,871 +34.5%】 ○企業債元金償還金 63,147【+3,322 +5.6%】
	下水道事業	収益的支出	974,214	3.4	965,793	3.0	8,421	0.9	○施設維持管理費等 824,030【+28,285 +3.6%】 ○支払利息 112,382【+13,403 +10.7%】
		資本的支出	1,081,653	3.8	1,101,451	3.5	▲ 19,798	▲ 1.8	○建設改良費 226,347【▲14,954 ▲6.2%】 ○企業債元金償還金 855,305【▲4,844 ▲0.6%】
	計	3,332,689	11.7	3,268,444	10.3	64,245	2.0		
合計		28,448,450	100.0	31,783,671	100.0	▲ 3,335,221	▲ 10.5		

令和3年度 一般会計歳入決算前年度比較表

- 4 -
(単位:千円、%)

歳入

区 分	令和3年度		令和2年度		比 較		摘 要 【 】内の数字は令和2年度との比較
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
1 市 税	3,344,391	17.5	3,385,599	15.1	▲ 41,208	▲ 1.2	○個人市民税 1,092,969 【▲15,058 ▲1.4%】 ○固定資産税 1,474,941 【▲34,482 ▲2.3%】 ○市たばこ税 228,653 【+13,871 +6.5%】
2 地 方 譲 与 税	197,070	1.0	194,205	0.9	2,865	1.5	○地方揮発油譲与税 47,923 【+1,377 +3.0%】 ○自動車重量譲与税 137,023 【+1,600 +1.2%】 ○森林環境譲与税 12,124 【▲112 ▲0.9%】
3 利 子 割 交 付 金	1,218	0.0	1,647	0.0	▲ 429	▲ 26.0	
4 配 当 割 交 付 金	10,952	0.1	7,460	0.0	3,492	46.8	
5 株式等譲渡所得割交付金	12,505	0.1	8,344	0.0	4,161	49.9	
6 法 人 事 業 税 交 付 金	52,358	0.3	19,638	0.1	32,720	166.6	
7 地 方 消 費 税 交 付 金	719,144	3.7	668,867	3.0	50,277	7.5	
8 ゴルフ場利用税交付金	3,675	0.0	3,104	0.0	571	18.4	
9 環 境 性 能 割 交 付 金	18,339	0.1	16,812	0.1	1,527	9.1	
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	12,951	0.1	13,092	0.1	▲ 141	▲ 1.1	
11 地 方 特 例 交 付 金	52,341	0.3	27,977	0.1	24,364	87.1	○新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 25,799 【皆増】
12 地 方 交 付 税	4,600,963	24.1	3,990,535	17.8	610,428	15.3	○普通交付税 3,795,656 【+491,939 +14.9%】 ○特別交付税 612,195 【+17,899 +3.0%】 ○震災復興特別交付税 193,112 【+100,590 +108.7%】
13 交通安全対策特別交付金	3,430	0.0	3,631	0.0	▲ 201	▲ 5.5	
14 分 担 金 及 び 負 担 金	57,289	0.3	71,650	0.3	▲ 14,361	▲ 20.0	○橋りょう整備事業負担金 32,510 【▲12,380 ▲27.6%】
15 使 用 料 及 び 手 数 料	117,015	0.6	116,840	0.5	175	0.1	○市民センター使用料 2,783 【+1,270 +84.0%】 ○保育料 16,331 【▲2,138 ▲11.7%】 ○道路占有料 7,436 【+1,313 +21.4%】
16 国 庫 支 出 金	2,889,214	15.1	6,297,112	28.2	▲ 3,407,898	▲ 54.1	○特別定額給付金給付事業費(事務費)補助金 【▲ 2,879,757 皆減】 ○災害等廃棄物処理事業費補助金 【▲643,712 皆減】
17 県 支 出 金	1,750,626	9.2	1,560,405	7.0	190,221	12.2	○強い農業・担い手づくり総合支援事業(被災産地施設支援型)費補助金 494,235 【+125,883 +34.2%】 ○宮城県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金補助金 269,136 【+238,336 +773.8%】 ○農地災害復旧事業費補助金 【▲93,435 皆減】
18 財 産 収 入	55,705	0.3	64,667	0.3	▲ 8,962	▲ 13.9	○土地売却収入 33,411 【▲4,847 ▲12.7%】
19 寄 附 金	2,944,081	15.4	2,743,220	12.3	200,861	7.3	○ふるさと納税寄附金 2,922,368 【+201,137 +7.4%】
20 繰 入 金	154,989	0.8	183,656	0.8	▲ 28,667	▲ 15.6	○財政調整基金繰入金 【▲120,000 皆減】 ○都市整備基金繰入金 73,200 【皆増】
21 繰 越 金	399,827	2.1	574,508	2.6	▲ 174,681	▲ 30.4	○純繰越金 220,000 【+20,000 +10.0%】 ○繰越財源繰越金 179,827 【▲194,681 ▲52.0%】
22 諸 収 入	405,294	2.1	402,554	1.8	2,740	0.7	○学校給食費納付金 116,289 【+23,142 +24.8%】 ○スポーツ振興くじ助成金 16,931 【+13,123 +344.6%】 ○全国市有物件災害共済会地震災害見舞金 10,000 【皆増】 ○建物総合共済災害共済金 1,269 【▲45,698 ▲97.3%】
23 市 債	1,296,393	6.8	2,012,828	9.0	▲ 716,435	▲ 35.6	○道路整備事業充当債 186,500 【+136,800 +275.3%】 ○公共土木施設災害復旧債 104,000 【▲172,900 ▲62.4%】 ○災害対策債 【▲689,800 皆減】
	19,099,770	100.0	22,368,351	100.0	▲ 3,268,581	▲ 14.6	

令和3年度 一般会計歳出決算前年度比較表

歳出

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度		令和2年度		比 較		摘 要 【 】内の数字は令和2年度との比較
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
1 議 会 費	150,322	0.8	153,877	0.7	▲ 3,555	▲ 2.3	○職員給与 23,383 【▲2,194 ▲8.6%】
2 総 務 費	4,597,166	25.0	7,159,343	32.9	▲ 2,562,177	▲ 35.8	○特別定額給付金事業【▲2,879,757 皆減】 ○過誤納還付金 9,048 【▲64,950 ▲87.8%】 ○減債基金積立金 500,029 【+118,872 +31.0%】 ○公共施設強靱化対策基金積立金 800,019 【+200,016 +33.3%】
3 民 生 費	4,858,623	26.4	3,931,044	18.1	927,579	23.6	○住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業 263,076 【皆増】 ○子育て世帯への臨時特別給付金支給事業 374,470 【+340,122 +990.2%】 ○子ども子育て未来基金積立金 300,000 【皆増】
4 衛 生 費	1,331,363	7.2	2,407,672	11.1	▲ 1,076,309	▲ 44.7	○災害等廃棄物処理事業 16,540 【▲1,284,008 ▲98.7%】 ○新型コロナウイルスワクチン接種事業 260,580 【+252,690 +3202.7%】
5 労 働 費	15,241	0.1	14,597	0.1	644	4.4	○婦人研修センター指定管理料 1,337 【+45 +3.5%】 ○シルバー人材センター補助金 13,000 【+601 +4.8%】
6 農 林 業 費	1,353,858	7.4	1,021,209	4.7	332,649	32.6	○強い農業・担い手づくり総合支援事業(被災産地施設支援型)費補助金 494,235 【+104,676 +26.9%】 ○農作物災害対策事業 104,270 【+90,208 +641.5%】 ○基幹水利施設ストックマネジメント事業 93,743 【+70,658 +306.1%】 ○農業振興基金積立金 107,872 【+57,870 +115.7%】
7 商 工 費	675,719	3.7	600,347	2.8	75,372	12.6	○新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金支給事業 269,749 【+223,439 +482.5%】 ○小規模事業者等事業継続応援金支給事業 34,183 【▲44,498 ▲56.6%】 ○飲食事業者等事業継続応援金支給事業 9,012 【▲28,000 ▲75.7%】 ○地域消費喚起緊急支援事業 65,843 【▲21,965 ▲25.0%】
8 土 木 費	1,743,013	9.5	1,643,420	7.5	99,593	6.1	○南町斗蔵線道路整備事業 24,650 【皆増】 ○大沼野田前線道路整備事業 17,755 【皆増】 ○道路舗装事業 108,406 【+104,811 +2915.5%】 ○橋りょう維持補修事業 15,799 【▲56,264 ▲78.1%】
9 消 防 費	428,752	2.3	466,259	2.1	▲ 37,507	▲ 8.0	○仙南広域消防費負担金 314,908 【▲24,742 ▲7.3%】 ○消防団員出場報酬 9,351 【▲4,977 ▲34.7%】 ○災害対策事業 25,817 【▲15,895 ▲38.1%】 ○農林業系廃棄物収集運搬業務委託料 14,850 【皆増】
10 教 育 費	1,296,324	7.1	1,471,336	6.8	▲ 175,012	▲ 11.9	○小中学校情報教育推進事業 41,548 【▲275,546 ▲86.9%】 ○幼稚園費 【▲13,730 皆減】 ○自治センター施設整備事業 60,829 【皆増】 ○スポーツ振興基金積立金 50,001 【+49,997 +1,249,925.0%】
11 災 害 復 旧 費	670,570	3.7	1,672,765	7.7	▲ 1,002,195	▲ 59.9	○農業用施設災害復旧費 180,651 【▲107,677 ▲87.3%】 ○農地災害復旧費 【▲117,994 皆減】 ○公共土木施設災害復旧費 434,184 【▲731,136 ▲62.7%】
12 公 債 費	1,249,895	6.8	1,160,193	5.3	89,702	7.7	○定期償還元金 1,173,866 【+71,510 +6.5%】 ○繰上償還元金 27,397 【皆増】 ○償還利子 48,632 【▲9,205 ▲15.9%】
13 諸 支 出 金	0	0.0	38,136	0.2	▲ 38,136	皆減	○土地取得事業【▲38,136 皆減】
歳 出 合 計	18,370,846	100.0	21,740,198	100.0	▲ 3,369,352	▲ 15.5	

令和3年度 一般会計性質別歳出決算前年度比較表

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度		令和2年度		比 較		摘 要 【】内の数字は令和2年度との比較
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
義務的経費	6,436,307	35.0	5,743,239	26.4	693,068	12.1	
人件費	2,484,214	13.5	2,515,721	11.6	▲ 31,507	▲ 1.3	○職員給(給料・手当) 1,446,742 【+16,849 +1.2%】 ○職員退職手当組合負担金 193,821 【▲50,525 ▲20.7%】 ○職員共済組合負担金 292,492 【▲612 ▲0.2%】
扶助費	2,702,195	14.7	2,067,310	9.5	634,885	30.7	○住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業 261,200 【皆増】 ○子育て世帯への臨時特別給付金 371,900 【+340,360 +1,079.1%】 ○子育て世帯生活支援特別給付金 18,150 【皆増】
公債費	1,249,898	6.8	1,160,208	5.3	89,690	7.7	○定期償還元金 1,173,866 【+71,510 +6.5%】 ○繰上償還元金 27,397 【皆増】 ○償還利子 48,632 【▲9,205 ▲15.9%】 ○基金繰替運用利子 3 【▲12 ▲80.0%】
一般行政経費	9,631,125	52.5	12,888,237	59.3	▲ 3,257,112	▲ 25.3	
物件費	2,593,509	14.1	3,838,614	17.7	▲ 1,245,105	▲ 32.4	○災害等廃棄物処理業務委託料 16,540【▲724,443 ▲97.8%】 ○仮置場等原形復旧業務委託料 【▲247,850 皆減】 ○被災家屋等解体撤去処理業務委託料 【▲218,595 皆減】 ○小中学校情報教育用備品購入費 【▲199,100 皆減】
維持補修費	213,641	1.2	187,021	0.9	26,620	14.2	○農地施設維持管理等業務委託料 29,088 【+27,702 +1,998.7%】 ○河川浚渫委託料 14,191 【皆増】 ○小中学校施設修繕料 5,785 【▲10,801 ▲65.1%】
補助費等	3,831,275	20.9	6,613,265	30.4	▲ 2,781,990	▲ 42.1	○特別定額給付金【▲2,853,600 皆減】 ○令和4年度産米生産振興特別助成事業費補助金 86,321 【皆増】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金 269,136 【+222,936 +482.5%】 ○小規模事業者等事業継続応援金 33,900 【▲44,700 ▲56.8%】
積立金	1,891,165	10.3	1,158,686	5.3	732,479	63.2	○減債基金積立金 500,029 【+118,372 +31.0%】 ○公共施設強靱化対策基金積立金 800,019 【+200,016 +33.3%】 ○子ども子育て未来基金積立金 300,000 【皆増】 ○農業振興基金積立金 107,872 【+57,870 +115.7%】
投資及び出資金・貸付金	329,004	1.8	317,807	1.5	11,197	3.5	○角田市奨学金貸付金 8,100 【+2,730 +50.8%】 ○みやぎ県南中核病院企業団出資金 148,914 【+6,010 +4.2%】 ○水道管路耐震化事業費出資金 21,840 【+2,357 +12.1%】
繰出金	772,531	4.2	772,844	3.5	▲ 313	0.0	○国民健康保険事業特別会計繰出金 224,261 【+11,073 +5.2%】 ○介護保険特別会計繰出金 458,236 【▲10,919 ▲2.3%】
投資的経費	2,303,414	12.5	3,108,722	14.3	▲ 805,308	▲ 25.9	
普通建設事業費	1,624,560	8.8	1,374,408	6.3	250,152	18.2	○強い農業・担い手づくり総合支援事業(被災産地施設支援型)費補助金 494,235 【+104,676 +26.9%】 ○基幹水利施設ストックマネジメント事業 93,743 【+70,658 +306.1%】 ○道路舗装事業 108,406 【+104,811 +2915.5%】
災害復旧事業費	678,854	3.7	1,734,314	8.0	▲ 1,055,460	▲ 60.9	○農業用施設災害復旧費 180,639 【▲110,761 ▲38.0%】 ○農地災害復旧費【▲122,605 皆減】 ○公共土木施設災害復旧費 434,161 【▲731,159 ▲62.7%】
歳出合計	18,370,846	100.0	21,740,198	100.0	▲ 3,369,352	▲ 15.5	

令和3年度 市税決算前年度比較表

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度		令和2年度		比 較		摘 要
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
1 市 民 税	1,353,471	40.5	1,371,629	40.5	▲ 18,158	▲ 1.3	
(1) 個 人	1,092,969	32.7	1,108,027	32.7	▲ 15,058	▲ 1.4	○均等割 47,092 【▲170 ▲0.4%】 ○所得割 1,045,877 【▲14,887 ▲1.4%】
(2) 法 人	260,502	7.8	263,602	7.8	▲ 3,100	▲ 1.2	○均等割 71,180 【▲4,575 ▲6.0%】 ○法人税割 189,322 【+1,474 +0.8%】
2 固 定 資 産 税	1,474,941	44.1	1,509,423	44.6	▲ 34,482	▲ 2.3	
(1) 土 地	454,806	13.6	459,350	13.5	▲ 4,544	▲ 1.0	
(2) 家 屋	665,501	19.9	697,819	20.7	▲ 32,318	▲ 4.6	○評価替えによる減
(3) 償 却 資 産	353,619	10.6	351,238	10.4	2,381	0.7	
(4) 国 有 資 産 等 所 在 市 町 村 交 付 金	1,015	0.0	1,016	0.0	▲ 1	▲ 0.1	
3 軽 自 動 車 税	116,913	3.5	113,923	3.4	2,990	2.6	
(1) 環 境 性 能 割	3,791	0.1	3,547	0.1	244	6.9	
(2) 種 別 割	113,122	3.4	110,376	3.3	2,746	2.5	
4 市 た ば こ 税	228,653	6.8	214,782	6.3	13,871	6.5	○課税方式の見直しによる増
5 都 市 計 画 税	170,413	5.1	175,842	5.2	▲ 5,429	▲ 3.1	○土地 73,793 【▲647 ▲0.9%】 ○家屋 96,620 【▲4,782 ▲4.7%】
合 計	3,344,391	100.0	3,385,599	100.0	▲ 41,208	▲ 1.2	

令和3年度 都市計画税充当説明資料

(単位:千円)

区 分	一般会計 歳出科目	決算額	財 源 内 訳				一般財源の うち都市計 画税充当額 ②	その他一般 財源充当額 ①-②
			国県支出金	地方債	その他	一般財源 ①		
街 路	-					0	/	/
公 園	-					0		
下水道 <small>(下水道事業会計負担金・補助金 のうち建設費充当額)</small>	-					0		
都市計画事業	/	0	0	0	0	0		
土地区画整理事業	-					0		
街 路	-					0		
公 園	-					0		
下水道 <small>(下水道事業会計負担金・補助金 のうち公債費充当額)</small>	8-5-1	431,257				431,257		
土地区画整理事業	-					0		
過去の都市計画事業等に係る 公債費(地方債の元利償還金)等	/	431,257	0	0	0	431,257		
合 計	/	431,257	0	0	0	431,257	173,117	258,140

※令和3年度は、過年度実施の下水道事業に係る地方債の元利償還金等に充てられている。

※「一般財源のうち都市計画税充当額」は、新型コロナウイルス感染症対策に係る都市計画税減収補填特別交付金を含む。

地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入)	地方消費税交付金（社会保障財源化分）	390,798 千円
(歳出)	社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費	4,961,479 千円

【社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位：千円)

事業	令和３年度 決算額	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	地方債	その他	社会保障財源化分の 地方消費税交付金	その他
社会福祉	3,109,368	2,098,265		67,566	159,276	784,261
社会保険	1,062,675	207,475		74	144,351	710,775
保健衛生	789,436	271,879		1,164	87,171	429,222
合計	4,961,479	2,577,619		68,804	390,798	1,924,258

※１ 社会保障財源化分の地方消費税交付金は、社会保障４経費その他社会保障施策（社会福祉、社会保険及び保健衛生に関する施策をいう。）に要する経費に充てるものとされている。

(注) 「社会保障４経費」…制度として確立された年金、医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費

※２ 事業の「社会福祉」は障害者福祉事業、児童福祉事業など。「社会保険」は国民健康保険事業、介護保険事業など。「保健衛生」は地域医療対策事業、感染症予防事業など。

※３ 「社会保障財源化分の地方消費税交付金」の合計額は、地方消費税交付金の決算額719,144千円のうち社会保障財源化分390,798千円を計上。
「社会福祉」「社会保険」「保健衛生」の「社会保障財源化分の地方消費税交付金」は、「社会保障財源化分の地方消費税交付金合計額」を一般財源額であん分。

令和3年度 地方交付税の概要

1 普通交付税

(単位：千円、%)

区 分		令和3年度	令和2年度	増 減		増減理由等
				増減額	増減率	
基準財政需要額	個別算定経費（(b)～(h)を除く）(a)	5,373,166	5,229,258	143,908	2.8	消防費▲16,947、土木費8,026、教育費▲8,390、厚生費57,020、産業経済費3,556、総務費100,643
	地域の元気創造事業費(b)	97,461	99,338	▲ 1,877	▲ 1.9	
	人口減少等特別対策事業費(c)	152,300	155,764	▲ 3,464	▲ 2.2	
	地域社会再生事業費(d)	135,825	131,356	4,469	3.4	
	地域デジタル社会推進費(e)	43,746		43,746	皆増	R3年度新設科目
	臨時経済対策費(f)	77,909		77,909	皆増	R3年度新設科目
	臨時財政対策債償還基金費(g)	130,915		130,915	皆増	R3年度新設科目
	公債費(h)	698,454	679,039	19,415	2.9	H29臨時財政対策債の理論償還率の増
	包括算定経費(i)	892,698	861,645	31,053	3.6	単位費用の増
	小計（(a)～(i)の合計）(j)	7,602,474	7,156,400	446,074	6.2	
	臨時財政対策債振替額(k)	477,793	350,588	127,205	36.3	
	錯誤措置額(l)	6,201	▲ 2,320			
	合計（(i)－(k)＋(l)）①	7,130,882	6,803,492	327,390	4.8	
基準財政収入額(m)	3,335,226	3,496,585	▲ 161,359	▲ 4.6	市町村民税▲53,687、固定資産税▲106,244、法人事業税交付金15,008、地方消費税交付金▲16,412	
錯誤措置額(n)	0	▲ 286				
合計（(m)＋(n)）②	3,335,226	3,496,299	▲ 161,073	▲ 4.6		
交付基準額③（=①－②）	3,795,656	3,307,193	488,463	14.8		
調整額④	0	▲ 3,476				
普通交付税の決定額⑤（=③＋④）	3,795,656	3,303,717	491,939	14.9		

2 特別交付税

(単位：千円、%)

区 分		令和3年度	令和2年度	増 減		令和3年度の算入内容	
				増減額	増減率		
通常分⑥		612,195	594,296	17,899	3.0	連年災（令和元年東日本台風分）137,280千円 ※R2年度からR4年度まで交付	
震災復興分⑦		193,112	92,522	100,590	108.7		
	災害復旧事業	10,407	0	10,407	皆増	仙南クリーンセンター負担金（農林業系廃棄物処理業務）、農林業系廃棄物収集運搬業務	
	原発事故関係	風評被害対策等	3,241	3,282	▲ 41	▲ 1.2	空間放射線量測定、農産物等放射性物質検査
		子どもの生活支援等	88	76	12	15.8	学校給食及び保育所給食の放射能測定検査
	地方税法の改正等に伴う地方税の減収額	11,597	12,143	▲ 546	▲ 4.5	市民税（個人・法人）、固定資産税、都市計画税、自動車税環境性能割、法人事業税交付金	
	復興特区における課税免除	167,970	191,518	▲ 23,548	▲ 12.3	固定資産税（償却資産、家屋、土地）	
	過年度分過大・過少算定額	▲ 191	▲ 114,497				
合計⑧（=⑥＋⑦）		805,307	686,818	118,489	17.3		

3 地方交付税の総額

(単位：千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	
			増減額	増減率
地方交付税（=⑤＋⑧）	4,600,963	3,990,535	610,428	15.3

令和3年度 各種基金の状況

(単位：千円)

基金名	令和2年度末 現在高	令和3年度中の増減額			令和3年度末 現在高見込額	令和4年度中の増減見込額		令和4年度末 現在高見込額
		積立額 ※下段：前年度 決算剰余金処分 による積立	取崩額	取崩額の説明・充当先		積立予定額 ※下段：前年度 決算剰余金処分 による積立	取崩予定額	
財政調整基金	1,489,220	34 228,325			1,717,579	30 268,775	903,070	1,083,314
減債基金	1,413,394	500,030	50,000	公債費増に対応した取崩し	1,863,424	30	100,000	1,763,454
その他特定目的基金	1,358,110	1,391,102	104,989		2,644,223	232,931	142,433	2,734,721
明日を拓く人材育成基金	81,560	1			81,561	2	800	80,763
公共施設強靱化対策基金	800,003	800,020			1,600,023	200,030	59,900	1,740,153
角田市育英会奨学金基金	54,113	21,074	9,496	角田市育英会奨学金事業9,496	65,691	15,471	14,401	66,761
長寿社会対策基金	1,674				1,674	1		1,675
子ども子育て未来基金		300,000		R4.3.15基金創設	300,000	10	26,000	274,010
21世紀の田園文化創造基金	7,870	1	7,871	R4.3.29基金廃止。残高は農業振興基金へ積立。				
農業振興基金	71,665	107,872	3,630	野菜生産振興事業1,900、果樹生産振興事業1,230、人・農地プラン推進事業500	175,907	2	13,236	162,673
森林環境整備基金	14,395	12,124	5,172	林業振興対策事業5,172	21,347	17,403	13,046	25,704
都市整備基金	249,875	100,008	73,200	新丁南町線道路改良事業49,200、町尻3号公園等整備事業24,000	276,683	10	9,000	267,693
文化財保護基金	39,654	1	1,870	文化財記録映像制作事業490、文化財保護助成事業170、郷土資料館資料等購入費1,210	37,785	1	750	37,036
スポーツ振興基金	37,301	50,001	3,750	各種スポーツ振興事業（阿武隈リバーサイドマラソン大会160、スポーツ団体・クラブ2,580、各種大会出場助成等1,010）	83,552	1	5,300	78,253
合計	4,260,724	1,891,166 228,325	154,989		6,225,226	232,991 268,775	1,145,503	5,581,489

基金名	令和2年度末 現在高	令和3年度中の増減額			令和3年度末 現在高見込額	令和4年度中の増減見込額		令和4年度末 現在高見込額
		積立額 ※下段：前年度 決算剰余金処分 による積立	取崩額	取崩額の説明・充当先		積立予定額 ※下段：前年度 決算剰余金処分 による積立	取崩予定額	
国民健康保険事業財政調整基金	377,082	34 10,759	26,000	歳入歳出財源不足に対応した取崩し	361,875	20 6,078	169,770	198,203
介護保険事業財政調整基金	386,053	15 43,747			429,815	10 55,104	8,094	476,835
東根財産区財産造成基金	4,678		234	歳入歳出財源不足に対応した取崩し	4,444	1	464	3,981

※ 定額運用基金は除く。

※ 令和4年度の積立予定額及び取崩予定額は、9月補正後の見込額。

令和3年度 各種会計地方債の状況

(単位：千円)

会計区分	地方債区分	令和2年度末 現在高	令和3年度中増減額		令和3年度末 現在高	令和4年度中増減見込額 (令和3年度繰越分含む)(9月補正後見込)		令和4年度末 現在高見込額	
			起債額	元金償還額		起債見込額	元金償還見込額		
一般会計	1. 普通債	(11,144) 8,739,337	609,500	(3,518) 683,441	(7,626) 8,665,396	1,278,100	(3,947) 759,688	(3,679) 9,183,808	
	2. 災害復旧債	1,909,835	209,100	41,751	2,077,184	539,300	34,961	2,581,523	
	3. 減税補てん債	51,355		16,421	34,934		13,387	21,547	
	4. 臨時財政対策債	5,537,313	477,793	459,650	5,555,456	127,063	476,555	5,205,964	
	5. 減収補てん債	37,240			37,240			37,240	
	小計	(11,144) 16,275,080	1,296,393	(3,518) 1,201,263	(7,626) 16,370,210	1,944,463	(3,947) 1,284,591	(3,679) 17,030,082	
企業会計	水道事業	1. 企業債	695,407	63,147	632,260		53,491	578,769	
		小計	695,407	63,147	632,260		53,491	578,769	
	公共下水道事業	1. 公共下水道事業債	(265,267) 5,315,101	132,000	(85,589) 505,605	(179,678) 4,941,496	111,200	(89,316) 500,327	(90,362) 4,552,369
		2. 流域下水道事業債	(12,135) 208,354	10,900	(5,081) 18,570	(7,054) 200,684	21,600	(5,305) 16,964	(1,749) 205,320
		3. 災害復旧債	73,368		4,757	68,611		5,041	63,570
		4. 資本費平準化債	2,884,597	249,000	215,964	2,917,633	240,700	226,704	2,931,629
		5. 下水道事業特例債	656,197		48,102	608,095		51,650	556,445
	小計	(277,402) 9,137,617	391,900	(90,670) 792,998	(186,732) 8,736,519	373,500	(94,621) 800,686	(92,111) 8,309,333	
	農業集落排水事業	1. 農業集落排水事業債	409,129	2,900	44,927	367,102		45,857	321,245
		2. 災害復旧債	8,345		415	7,930		830	7,100
		3. 資本費平準化債	211,264	22,200	16,965	216,499	22,900	18,014	221,385
		小計	628,738	25,100	62,307	591,531	22,900	64,701	549,730
	合計	(288,546) 26,736,842	1,713,393	(94,188) 2,119,715	(194,358) 26,330,520	2,340,863	(98,568) 2,203,469	(95,790) 26,467,914	

※ 貸付利率4.0%以上の地方債現在高は、()で内書きしています。

令和3年度 健全化判断比率及び資金不足比率について

1. 健全化判断比率 [財政の早期健全化・再生に関する判断比率]

- 早期健全化基準を超える場合：自主的な改善努力による財政健全化（財政健全化計画の策定（議会の議決）、外部監査の義務付け）
- 財政再生基準を超える場合：国等の関与による確実な再生（財政再生計画の策定（議会の議決）、外部監査の義務付け、地方債の起債の制限）

	説明	令和3年度決算に基づく比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	「一般会計等」を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	－（－）	13.64%	20.00%
連結実質赤字比率	「全会計」を対象とした実質赤字（又は資金の不足額）の標準財政規模に対する比率	－（－）	18.64%	30.00%
実質公債費比率	「一般会計等」が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率	9.7%（9.2%）	25.0%	35.0%
将来負担比率	「一般会計等」が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	37.3%（79.5%）	350.0%	－

※「一般会計等」…角田市の場合は一般会計のみ対象、「全会計」……角田市の場合は東根財産区特別会計を除く

※（ ）は令和2年度決算に基づく比率

2. 資金不足比率 [公営企業の経営健全化に関する判断比率]

- 経営健全化基準を超える場合：経営健全化計画の策定（議会の議決）、外部監査の義務付け

	説明	会計区分	令和3年度決算に基づく比率	経営健全化基準
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率	水道事業会計	－（－）	20.0%
		下水道事業会計	－（－）	

※（ ）は令和2年度決算に基づく比率

健全化判断比率等の概要について

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

○ 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率（令和3年度決算では実質赤字額はなし）

・ 実質赤字額 = 繰上充用額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

繰上充用額：歳入不足のため、翌年度歳入を繰り上げて充用した額（なし）

支払繰延額：実質上歳入不足のため、支払を翌年度に繰り延べた額（なし）

事業繰越額：実質上歳入不足のため、事業を繰り越した額（なし）

・ 標準財政規模（標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常一般財源の額）

= 標準税収入額等（4,161,627千円）+ 普通交付税（3,795,656千円）+ 臨時財政対策債発行可能額（477,793千円）

= 8,435,076千円

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}\{ (A+B) - (C+D) \}}{\text{標準財政規模}}$$

○ 全会計を対象とした実質赤字額（又は資金の不足額）の標準財政規模に対する比率

（令和3年度決算では実質赤字額又は資金の不足額を生じた会計はなし）

A：一般会計及び公営企業（地方公営企業法適用企業・非適用企業）以外の特別会計のうち、実質赤字を生じた会計の実質赤字の合計額（なし）

B：公営企業の特別会計のうち、資金の不足額を生じた会計の資金の不足額の合計額（なし）

C：一般会計及び公営企業以外の特別会計のうち、実質黒字を生じた会計の実質黒字の合計額（627,867千円）

D：公営企業の特別会計のうち、資金の剰余額を生じた会計の資金の剰余額の合計額（975,784千円）

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \quad \text{の3か年平均}$$

○ 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

- ・ 地方債の元利償還金 : **1, 249, 853 千円**

- ・ 準元利償還金 (①～⑤の合計額) : **791, 150 千円**

- ① 満期一括償還地方債について、償還期間を30年とする元金均等年賦償還をした場合の1年当たりの元金償還金相当額 (なし)

- ② 一般会計等から一般会計等以外の特別会計への繰出金のうち公営企業債の償還に充てたと認められるもの (**622, 666 千円**)

- ③ 組合・地方開発事業団(組合等)への負担金・補助金のうち、組合等が起こした地方債の償還の財源に充てたと認められるもの (**166, 252 千円**)

- ④ 債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの (**2, 232 千円**)

- ⑤ 一時借入金の利子 (なし)

- ・ 特定財源 (住宅使用料、都市計画税等) : **154, 873 千円**

- ・ 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額 : **1, 157, 151 千円**

- ・ 標準財政規模 : **8, 435, 076 千円**

※ 令和3年度の単年度の実質公債費比率は、上記の算式により **10.01630%**になるが、令和元年度、令和2年度の単年度の比率はそれぞれ **9.84707%**、**9.28177%**となっているので、3か年平均は **9.7%**になる。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

○ 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

・ 将来負担額（①～⑧の合計額）：27,336,131 千円

① 一般会計等の地方債現在高（16,359,110 千円）

② 債務負担行為に基づく支出予定額（地方財政法第5条各号の経費等に係るもの）（なし）

③ 一般会計等以外の会計の地方債の元金償還に充てる一般会計等からの繰出見込額（7,618,967 千円）

④ 当該団体が加入する組合等の地方債の元金償還に充てる当該団体からの負担等見込額（1,601,681 千円）

⑤ 退職手当支給予定額（全職員に対する期末要支給額）のうち、一般会計等の負担見込額（1,756,373 千円）

⑥ 地方公共団体が設立した一定の法人の負債の額、その者のために債務を負担している場合の当該債務の額のうち、当該法人等の財務・経営状況を勘案した一般会計等の負担見込額及び公的信用保証に係る損失補償見込額（なし）

⑦ 連結実質赤字額（なし）

⑧ 組合等の連結実質赤字額相当額のうち一般会計等の負担見込額（なし）

・ 充当可能基金額：7,213,420 千円

・ 特定財源見込額（住宅使用料、都市計画税等）：1,707,514 千円

・ 地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額：15,696,277 千円

・ 標準財政規模：8,435,076 千円

・ 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額：1,157,151 千円

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

○ 公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率

（令和3年度決算では、いずれの会計も資金の不足額はなし）

資金の不足額：一般会計等の実質赤字に相当するものとして公営企業会計ごとに算定した額（なし）

事業の規模：料金収入など主たる営業活動から生じる収益等に相当する額

水道事業会計（829,000 千円） 下水道事業会計（332,084 千円）

健全化判断比率及び資金不足比率に関する会計区分等

一般会計等	一般会計 ○		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	
	一般会計等に属する特別会計	公債管理 勤労者福祉共済 母子寡婦福祉資金貸付 その他事業					
公営事業会計	一般会計等以外の特別会計のうち公営企業に係る特別会計以外の特別会計	国民健康保険 ○ 駐車場	資金不足比率 (会計ごとに算定)	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	
		介護保険 ○ 交通災害共済					
		後期高齢者医療 ○ 公営競技					
		農業共済 公立大学付属病院					
		老人保健医療 有料道路					
		介護サービス					
公営企業会計	公営企業に係る会計 (地公企法を適用する事業又は地財令第46条の事業)	法適用企業・法非適用企業	水道事業 ○ 病院	資金不足比率 (会計ごとに算定)	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
		簡易水道 市場					
		工業用水道 と畜場					
		交通 宅地造成					
		電気 下水道 (農集排含む) ○					
		ガス 観光施設					
		港湾整備 その他法適用事業					
		官城県市町村職員退職手当組合 ○ 官城県後期高齢者医療広域連合 ○					
仙南地域広域行政事務組合 ○ 官城県市町村非常勤消防団員補償報償組合 ○							
官城県市町村自治振興センター ○ みやぎ県南中核病院企業団 ○							

※○は、角田市の健全化判断比率及び資金不足比率に関する会計区分等です。

令和3年度 普通会計決算状況分析主要指標

角田市における主要指標の推移(10か年)

単位:%(財政力指数を除く)

項目 年度	財政力 指数	実質収支 比率	経常一般 財源比率	経常収支 比率	義務的経費 比率	投資的経費 比率	財 調 現在高比率	積立金 現在高比率	地 方 債 現在高比率	実質赤字 比率	連結実質 赤字比率	実質公債費 比率	将来負担 比率
平成 24 年度	0.44	5.7	96.5	93.2	40.8	15.6	24.5	37.2	133.9	-	-	11.4	66.8
平成 25 年度	0.46	7.2	92.0	93.0	40.2	17.2	27.2	40.7	136.2	-	-	11.2	70.9
平成 26 年度	0.48	5.1	90.6	97.8	35.6	26.8	24.5	36.5	159.5	-	-	9.8	72.9
平成 27 年度	0.50	4.8	92.9	97.5	36.5	18.2	25.0	36.9	170.5	-	-	8.0	76.9
平成 28 年度	0.50	4.7	94.5	96.9	38.3	17.4	23.5	37.4	179.8	-	-	7.0	82.9
平成 29 年度	0.50	4.7	93.6	99.2	39.9	17.3	19.5	33.1	183.8	-	-	6.6	90.9
平成 30 年度	0.51	5.2	92.9	103.0	38.4	19.4	17.3	29.4	189.8	-	-	7.1	105.2
令和 元 年度	0.52	5.3	93.3	105.2	35.3	11.6	18.0	39.6	197.8	-	-	8.2	97.6
令和 2 年度	0.52	5.6	93.5	98.8	26.0	14.3	18.5	53.0	202.6	-	-	9.2	79.5
令和 3 年度	0.50	6.7	96.0	90.7	35.0	12.5	20.4	73.8	194.1	-	-	9.7	37.3

※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、いずれも赤字でないことから「-」と表記しています。

～普通会計決算状況分析主要指標の見方～

1. **財政力指数**……基準財政収入額／基準財政需要額で表され、この数値が1に近く、あるいは超えるほど財政力が強いとみることができる。3か年平均の数値。

2. **実質収支比率**……標準財政規模に対する実質収支の割合である。通常この比率は3～5%程度が望ましいとされている。

$$\text{(算式)} \quad (\text{実質収支額} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

3. **経常一般財源比率**……毎年度経常的に収入され、かつ自由にその用途を決定することのできる財源の標準財政規模に対する割合である。この比率が高いほど財政運営は弾力的であるといえる。

$$\text{(算式)} \quad (\text{経常一般財源収入額} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

4. **経常収支比率**……財政構造の弾力性をみるうえで最も重要な比率であり、人件費、扶助費、公債費等のように容易に縮減することのできない経常的経費に、市税、普通交付税等を中心とする経常的な一般財源がどの程度充当されているかを測定しようとするものである。

$$\text{(算式)} \quad (\text{歳出総額のうち経常的経費に充当した一般財源} / \text{歳入総額のうち広義の経常的一般財源}) \times 100$$

5. **義務的経費比率**……歳出総額に対する義務的経費の割合である。

$$\text{(算式)} \quad (\text{人件費} + \text{扶助費} + \text{公債費}) / \text{歳出総額} \times 100$$

6. **投資的経費比率**……歳出総額に対する投資的経費の割合である。

$$\text{(算式)} \quad (\text{普通建設事業費} + \text{災害復旧事業費} + \text{失業対策事業費}) / \text{歳出総額} \times 100$$

7. **財調現在高比率・積立金現在高比率**……標準財政規模に対する財政調整基金(積立金現在高比率:財政調整基金+減債基金+特定目的基金)現在高の割合である。この比率が高いほど将来に対する蓄えが大であるということがいえる。

$$\text{(算式)} \quad (\text{財政調整基金年度末現在高} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

$$(\text{積立金年度末現在高} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

8. **地方債現在高比率**……標準財政規模に対する地方債現在高の割合である。

$$\text{(算式)} \quad (\text{地方債年度末現在高} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

9. **実質赤字・連結実質赤字比率**……一般会計等(連結実質赤字比率:特別会計等の全会計を含む)を対象とした実質赤字(連結実質赤字比率:実質赤字又は資金不足額)の標準財政規模に対する比率。

10. **実質公債費比率**……一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、3か年平均の数値。(以前の地方債発行の指標であった「起債制限比率」から、平成18年度より下水道など公営企業債の返済に充てられた繰出金なども債務として算定する。地方債協議(届出)制度の下、この比率が18%以上になると、地方債の発行に際し許可が必要となる。)

11. **将来負担比率**……一般会計等において、今後、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合である。

《注》 **標準税収入額等**……(基準財政収入額－地方譲与税－交通安全対策特別交付金－市民税所得割における税源移譲相当額の25%－地方消費税交付金のうち引上げ分の25%) \times 100 \div 75＋地方譲与税＋交通安全対策特別交付金

【R3:4,161,627千円】

標準財政規模……その地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模をいう。(標準税収入額等＋普通交付税額＋臨時財政対策債発行可能額)

【R3:8,435,076千円】